



理事長：田中粹人 組合員：

事務所：愛知県豊川市西本町47番地

TEL 0533-95-7711

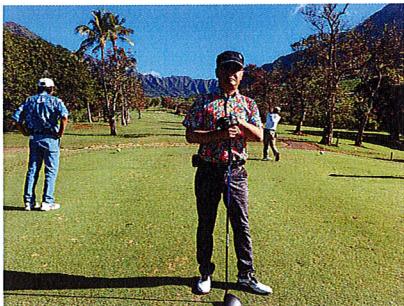
E-mail sn@smile-tf.com URL http://honmachi.site

春号

2017.3.3 発行

## 2017年3月 第7回 本町だより

## ☆☆☆☆☆ 理事長報告・挨拶 ☆☆☆☆☆



田中粹人理事長  
本町商店街の皆様、こんにちは。今年も早いようで、過ごしやすい春となりました。しかし

その一方、花粉が飛びまわり、花粉症の人は、外出にはマスクして、具合が悪そうに美味しい空気が吸うこともできません。商売も同じようなことですが、1つ問題を解決すれば、次から次へと、問題が出てきます。お店によって問題は様々ですが、人口減少社会においては、雇用の問題、売上の問題等、考えたらキリがありません。これには、目下の課題として取り組み、真正面から受けたなければ、商売を続けていくことができない時代になってきました。季節も冬が終われば、暖かい春が来て、暑い夏が来ることが予想できます。商売も先を予想しながら、問題を解決していくかなければいけない時代になってきたと思います。

さて、本町商店街には、幸いなことに恵まれた交通アクセスと豊川稲荷という観光地が備えられています。当然、一度きりの観光客を相手にしているようでは、今後商売は成り立ちません。人口減少社会においては、リピーターをいかに獲得できるかが課題だと信じています。それでは、何をして行くべきか。この答えは、それぞれのお店が、『楽しませる心』を持ちながら訪れるお客様にそれを伝えることだと思います。楽しませようというお店には必ず人は集まります。反対に言えば、例えどんなに美

味しい料理を提供しても、料理を出す人が不愛想だったら、折角の料理も台無しになります。お客様を楽しませることで、街へのリピーターを獲得する。そんなことを常々考え、笑顔で商売繁盛を目指す本町商店街を、今後ともよろしくお願ひします。



## ☆☆☆☆☆ 会員 挨拶 ☆☆☆☆☆



松山浩久会員  
こんにちは、うなぎの京樂軒の松山です。  
今年の正月は、正月三が日だけが忙しくて、あとは比較的に閑

散としていたように感じられたのは当店に限ったことでしょうか？初詣シーズンが年々短くなっている傾向が今後とも進んでいくのが避けられないとするならば、常日頃の商売こそ大切にしていかなければならないな、と、気の引き締まる思いです。閑話休題。さて、最近とみに思うのは、豊川の商店街の夜が賑やかになってきてるな、ということです。N H M 48はじめ飲み屋さんが増えたことが主

な要因でしょうが、街に人が、特に若い世代が集まっているのは喜ばしい傾向だと思います。客層の若返りこそが商店にとっての生命線でもありますので、将来的な見込み客を街にもたらしてくれるお店に感謝しつつ、いかに見込み客を本当のお客へと繋げていくかが各商店の課題となるでしょう。当店も、うかうかしてはいられません。

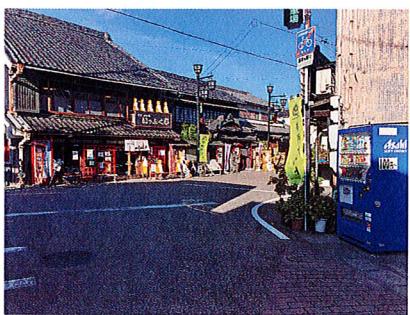
#### ☆☆☆☆☆ 会員挨拶 ☆☆☆☆☆



鈴木雄三 会員  
本町だよりの順番だと聞いて、もうですか？去年も春にやったのに！！と岡田理事に愚痴を言いながらも二回目を書いているおでんのゆう三です  
(笑) 豊川駅前で物件を探し、この場所で店を構

えたいなと思ったときから周りにはない新しい飲食店を作ろうと思っていましたが、ここまで受け入れられないのかと感じました。味が薄い、価格が高い、品数が少ない、豊川に個室はいらない、などなどアドバイスをいただき、色々と考えながらなんとか3月で2年半がたちます。この地域で何十年、何百年と商売をやられている方達からすればたったの2年半かと思われそうですが、オープン当初の自分の中では今の店舗は5年を目処に業態を変えて若い人材に経営してほしいと思っております。しかし本当にあと2年半後に業態変更しているのか、それまでに新店舗をやって違う方向性を向いているかわかりませんが、「原状に留まる事は退化の始まり」と言葉を聞いたことがあるのでぼくなりにこの先も失敗を恐れずチャレンジをしていきます。その時はまた、ありがたいアドバイスをよろしくお願いします。

#### ☆☆☆☆☆ 会員挨拶 ☆☆☆☆☆



生田米八 会員  
「あきない」と云うのは何の事なのか？個々が他人との物々交換が発展し、相手の喜びそうな商品

を準備し、店を開き、相手を選び、一夜明ければ人々

と語り、説明し語らい、集い、物々交換が成立してゆく。その集いが商店街だと思います。

最近、商品を大量に用意し、陳列し、宣伝しショッピングセンターと称して売りさばく施設が賑々しい。生活関連の必要品を揃え、便利な機能を「ウリ」にする、「コンビニ」がどんどん増えています。そんな店が近くにあれば便利？しかし、不備は兎に角解消されたとしても、いつとき心が満たされたとしても、何か不足なものを感じませんか？近隣の人々との会話があつて、笑いがあつて、うるおいがあつて、人間のあたたかさがあつて、その雰囲気があつて地域が育っているのです。街は明るくなくてはなりません。先ず夜が明るくて、安全で立ち止まって語らい合うスペースがなければなりません。その街路灯が「夜店」につながってきました。その集いが子どもたちの興奮を呼び、大人たちの抽選会での叫び声につながります。集った人々の大勢の笑い声が街全体に拡がる。落語を主体とした「門前寄席の会」が100回続いて実施されている。「いなり楽市」と称し、月一回参道で開かれている。ボランティアの芸人たちの声、40名以上の中学生のプラスバンドの響きは稲荷の森に木霊している。昔、物理で学んだアクション・リアクションの話を憶い出す。街に生じる声・音・叫び、そのアクションの熱がリアクションの熱となって、更に「本町商店街」を明るくするでしょう。

#### ☆☆☆☆☆ 連絡事項 ☆☆☆☆☆

##### ●豊川商店街連盟視察旅行

日時 3月9日(木)

場所 金沢市香林坊・片町・豊町商店街視察

3月10日東京浅草周辺視察

##### ●本町商店街振興組合理事会

日時 3月16日14時(木) 場所ジョンスミス

